



日本医療機能評価機構
三鷹中央病院は、令和5年8月に日本医療機能評価機構3rdG: Ver.2.0の認定を受けました。

三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指したりハビリを行います。
障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守るお世話をいたします。
明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

三鷹中央病院『医療理念』

地域医療の第一線を担う病院であることを誇りにもち、いつでも どなたでも診療いたします。
常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、事故のない病院をめざします。

新年のご挨拶



医療法人社団 永寿会
社会福祉法人 正寛会
理事長 吉田 正一



クロッカス

明けましておめでとうございます。
昨年1年間、三鷹中央病院をはじめ両法人に対しまして、ご支援・ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
令和5年5月8日、政府の方針で新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）は、5類感染症へと移行されました。それまでの法律に基づいた各種の規制から、コロナと共存しながら（with コロナ政策）個人の選択を尊重する対応へと移行した訳です。
しかし、コロナは今も感染力が強く、変異を続けながら流行を繰り返しております。流行の制御は困難な状況が続いています。昨年の春に始まった第9波は、11月末を底にして、12月に入って感染者数が増加してきており、最早10波に入ったとも言ってもよい状況です。近隣の病院や介護施設でクラスターが発生しており、三鷹中央病院にも重症化リスクのある高齢のコロナ陽性者が、年末にかけて10名程度入院しました。
これは、日本だけの話ではなく、新聞報道によると、アメリカでも12月上旬のコロナ新規入院患者数が1カ月前に比べ6割増えしており、中国保健当局

でさえ新規変異株の感染例が増加傾向にあると発表しているそうです。
コロナは、同じ5類感染症に位置づけられるインフルエンザと比較して、より感染力が強く、高齢者は重症化し、若年者には後遺症がみられる疾患とされています。後遺症の他のリスク要因は、複数回のコロナ感染、ワクチンのは、接種回数が少ない接種回数があるようです。感染時に無症状や軽症でも、1年後に後遺症を有していた人の割合が半数以上という報告もありますし、新型コロナウイルスは、中枢神経系に高い親和性を持つことが知られていて、今や認知症の重大な危険因子ともみなされており、この点も要注意です。
そして、ワクチン接種は、罹患時のウイルス量を減らすため、重症化・後遺症・家庭や施設内感染を抑制する効果があります。今更ですが、基礎疾患を有する人や医療や介護職に従事する方は、今後も積極的にワクチン接種をするべきだと思います。
昨年本稿でも取り上げましたが、数年前から表面化した医薬品の供給リスクは、昨年の各種感染症の急拡大が追い打ちをかけてかつて無い薬不足に陥り、多くの患者さんに大変ご迷惑を

お掛け致しました。一番身近な薬である風邪薬や消炎解熱剤が、ほとんど入手できなくなった時期もあります。業界全体の増産体制が整うまでの今後2年間程は、医薬品の供給不足が続くと考えられていますが、風邪薬のように安くて儲からない薬の生産を後回しにしているようなことがあれば、企業モラルを問われますし、よもやそんなこととは無いと信じたいものです。
昨年三鷹中央病院は、2002年に初回認定されて、以後5年毎にある日本医療機能評価機構の審査を受け、5回目の認定を取得しました。この受審は、準備が結構大変ですが、第三者による病院の医療水準の客観的な評価を得るだけに留まらず、評価項目毎に、今自分が働いている病院の現状に対する職員同士のコミュニケーションを活発にし、団結力を高める効果も期待できると考えて継続して受審しています。
また、三鷹中央病院は、老朽化が進んでスペース不足も深刻な病院建物の建て替えが最期待無しの状況です。現状のままでは災害時医療等の貢献に大きな支障があるため、早急に打開策を見出す必要に迫られています。今年度は、その解決に向けて大きく前進する年にしたいと考えています。
本年も永寿会と正寛会は、皆様のご支援・ご協力をいただきながら地域の医療と介護に貢献してまいります。皆様にとりまして、この1年が明るく希望に満ちた年になりますようお願い申し上げます。

新任医師の紹介

2023年9月1日から麻酔科で仕事をしている濱田哲と申します。

病気を診断して治療する。すべての診療科がそれを行います。しかし、麻酔科はどちらも行いません。診断・治療という診療行為が侵襲的で、患者さんにとって苦痛を伴うものとなる場合に、身体の状態を変え、実施可能となるような特殊な状態にする。それが麻酔科の仕事です。

痛覚、体動、呼吸、意識がなくなるのは、むしろ異常な状態と言えますが、それを承知で、生体機能を一時的（可逆的）に人為制御することによって、そのような特殊な状態を生み出す。それが麻酔科の仕事です。麻酔は手段であって目的ではないのです。

麻酔科には、できること、できないこと、そして、やるべきではないこともあります。手段が目的に変わるの、とても危険だからです。全身麻酔についていえば、麻酔自体は容易です。挿管さえできれば、医師なら誰でも全身麻酔が可能と私は思います。本当に難しいのは、どのようにして麻酔から覚ますかです。それは簡単なことではなく、分子レベルの知識と理解が必要です。

三鷹中央病院 麻酔科
濱田 哲



麻酔科学分野の研究蓄積によって、今では100歳超の老人や重症疾患患者さんでも全身麻酔が可能となってきました。そのため、手術をやりたいと思う外科系医師からは、依頼が増えることとなります。結果を見て、この調子なら、もっと症例を増やし、こういう患者さんでも手術ができるだろうと期待するからです。しかし、臨床での麻酔科医の個人的なストレスは逆に増えていきます。

私自身も日々の各症例で、最初の段階から、どのように覚醒させるかを考えながら、麻酔の導入を行います。実は、全身麻酔の機序は不明のままです。受容体仮説と細胞膜仮説の2大潮流がありますが、21世紀になってもまだ答えがでていません。小規模病院で麻酔科医の常勤がなかなか定着しないのは、そういう認識ギャップも原因かもしれません。

最後に一言、麻酔科医は術医と一緒に仕事をしますが、麻酔科医にとって、手術室の主役は患者さんであり、術者ではありません。

市民公開講座を開催しました

医療法人社団永寿会 三鷹中央病院
認知症看護認定看護師
大館 豊美



はじめまして。認知症看護認定看護師の大館豊美と申します。

2019年に認定看護師資格を取得し、入院された患者様が治療に専念できる環境調整やご家族との関わりなど、よりよい看護が提供できるよう実践・指導・相談を通し質の向上、充実に努めています。

認知症は2025年には65歳以上の5人に1人になると推計されています。認知症にはまだ特効薬はなく、加齢とともにリスクは上がっていきます。中年期のケアによって認知症のリスク低減が図れる可能性がいわ

れてきており、「予防」への働きかけが重要となってきます。そこで、2023年10月25日に当院で「今日からできる認知症予防ケアと食事について知ろう」をテーマに市民公開講座を開催しました。

認知症の定義や種類、治療などの基本的な知識と予防について生活習慣や栄養・食事の面から当院の栄養科職員、矢島梨佳子管理栄養士と共に講義を行いました。また、三鷹市高齢者支援課と三鷹駅周辺地域包括支援センターの担当者が来院し、それぞれの活動の説明に加え、三鷹市「あんしんキーホルダー」と「救急医療情報キット」の申し込みの場を設けた事により、多くの方の申し込みがありました。

今回の市民公開講座を通じて、地域の皆様の反応を直に感じられる貴重な機会となりました。今後も日々認知症ケアの質の向上・充実に向けて取り組み、より専門的な立場から「認知症予防とケア」を発信できるよう、地域活動にも参加していきたいと考えています。

◎三鷹中央病院

住所：〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel：0422-44-6161(代) Fax：0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科：内科・循環器内科・内分泌科・呼吸器内科・呼吸器外科・腫瘍内科・
外科・消化器内科・消化器外科・肛門外科・脳神経外科・整形外科・
皮膚科・泌尿器科・眼科・血液内科・神経内科・乳腺外科・
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

人間ドック・特定検診・禁煙指導

診療時間：月～土曜日 /am9:00～12:00 pm2:00～5:30
日曜・祝日 /am9:00～12:00 (救急外来は24時間受付)

病床数：一般病床122床(看護職配置基準7対1:110床、地域包括ケア:12床)

関連施設：ふれあい診療所 Tel：0422-79-1313
三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel：0422-48-6031
ふれあいデンタルクリニック Tel：0422-29-8242



◎三鷹中央リハケアセンター

住所：〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7
Tel：0422-70-0700(代) Fax：0422-70-0701

☆心のもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

ベッド数：100床(一般療養100床)

4床室/19室 2床室/1室 個室/22室

施設設備：機能訓練室(207.00㎡) 機械浴室(男女別) 自立浴室

関連施設：通所リハビリテーション(定員60人) Tel：0422-70-0700
訪問看護ステーション Tel：0422-70-1055
居宅介護支援事業所 Tel：0422-70-1066



◎ケアコート武蔵野

住所：〒180-0023 東京都武蔵野市境南町5-10-7
Tel：0422-39-0390(代) Fax：0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

入所数：80床(9ユニット)

事業内容：特別養護老人ホーム 72床(8ユニット)
短期入所生活介護 8床(1ユニット)

特徴：○全室個室のユニットケアを実施します。
○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にした
サービスの提供に努めます。



ACCESS



三鷹中央病院

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ②「新小金井駅」行
- ②「武蔵境営業所」行
- ②「調布駅北口」行

『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分

- タクシー(1区間)

三鷹中央リハケアセンター

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
- 『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

JR中央線吉祥寺駅(南口)

- 小田急バス ⑧「調布駅北口」行
- 『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

京王線 仙川駅(北口)

- 小田急バス ①「三鷹駅」行
- 『三鷹農協前』下車徒歩1分

ケアコート武蔵野

JR中央線 武蔵境駅(南口)下車(徒歩15分)

- 小田急バス ③「狛江駅・狛江営業所」行
- ④「吉祥寺駅」行
- 『井口新田』下車徒歩1分